

当中間期の業績の概要

	'03/上期 百万円	'04/上期 百万円	増減額 百万円	増減率
売上高	992	1,377	385	+38.8%
売上総利益	363	318	44	12.2%
営業利益	182	85	97	53.1%
経常利益	180	94	85	47.4%
当期純利益	98	51	47	47.7%

当中間期の事業環境の変化

厚生労働省の電子カルテ普及施策としての補助金制度

2002年度

108施設/
124億円

2003年度

141施設/
188億円

2004年度

中止

電子カルテの導入を計画していた病院が投資を延期。
…将来の補助金復活への期待感

電子カルテ導入病院が減少

受注競争が激化！

当中間期の営業戦略

既存ユーザー

バージョンアップ、電子カルテ導入を推進

約50のオーダエントリーシステムユーザー = 電子カルテの見込み客

新規ユーザー

積極的な営業活動の推進

従来) 紹介、見学会、社内展示会を中心とした受身の営業

当期) 当社のターゲットとなる病院へ積極的なアプローチ営業

(例) 電話によるローリング営業

見込み客データベース 将来の営業活動へ寄与

従来、ご縁のなかった病院との接点の拡大 チャンスの拡大

当中間期の営業活動の成果

既存ユーザー

オーダエントリーシステムの旧バージョンからのバージョンアップ
2病院（四天王寺病院、京都ルネス病院）

「NEWTONS」ユーザーの「e-カルテ」導入
3病院（長野中央病院、松原徳洲会病院、あさかホスピタル）

新規ユーザー

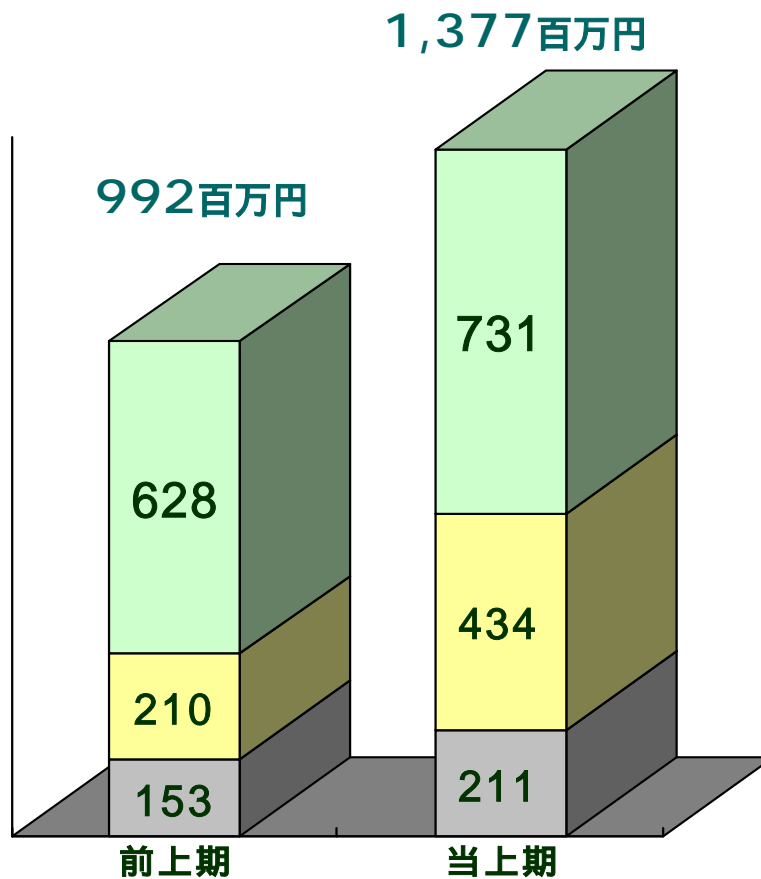
「NEWTONS」と「e-カルテ」の同時稼働
2病院（山近記念病院、安芸市民病院）

「NEWTONS」と「e-カルテ」の時間差稼働
4病院（白鷺病院、福岡リハビリ病院、会津中央病院、国保中部病院）

前中間期実績：8病院

当中間期実績：11病院

売上高構成比推移



【対前上半期増減】
+ 385百万円 (+ 38.8%)

ソフトウェア売上高
+ 103百万円 (+ 16.5%)

ハードウェア売上高
+ 223百万円 (+ 106.5%)

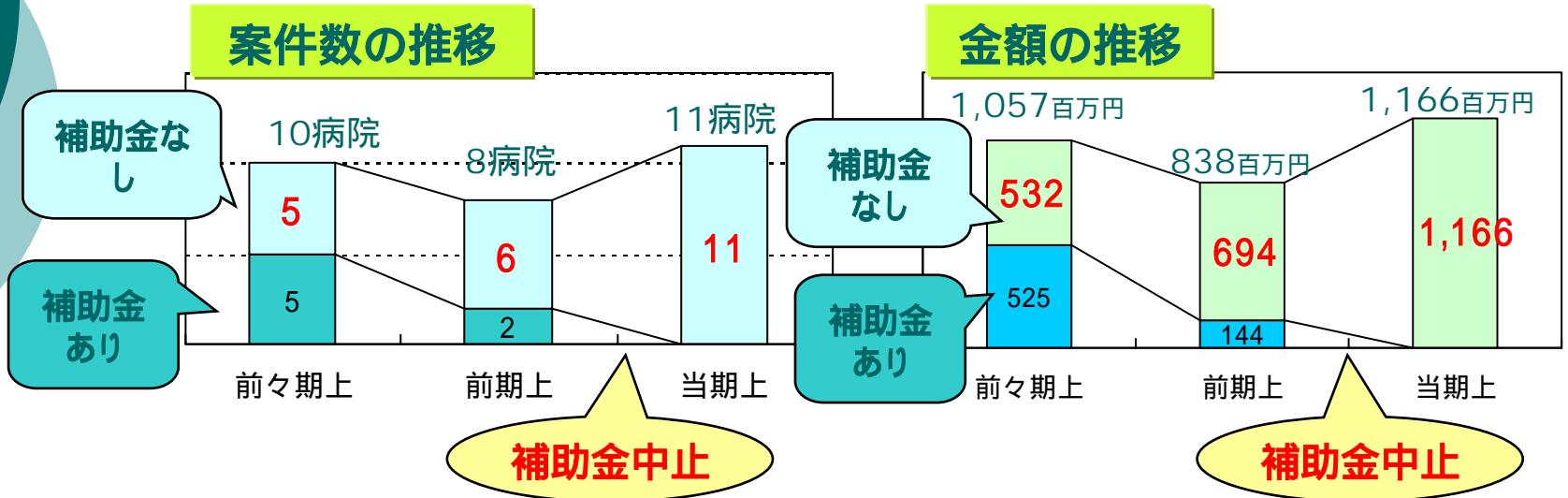
保守売上高
+ 57百万円 (+ 37.6%)

受注の状況

	受注高 百万円	前年同期比	受注残高 百万円	前年同期比
ソフトウェア	1,777	+8.7%	1,782	0.1%
ハードウェア	891	+0.2%	1,007	2.6%
合計	2,668	+5.7%	2,735	1.1%

すべてが当期稼働予定(当期の売上高計上)となるものではなく、来期案件(5案件)を含みます。

中間期での補助金案件の推移

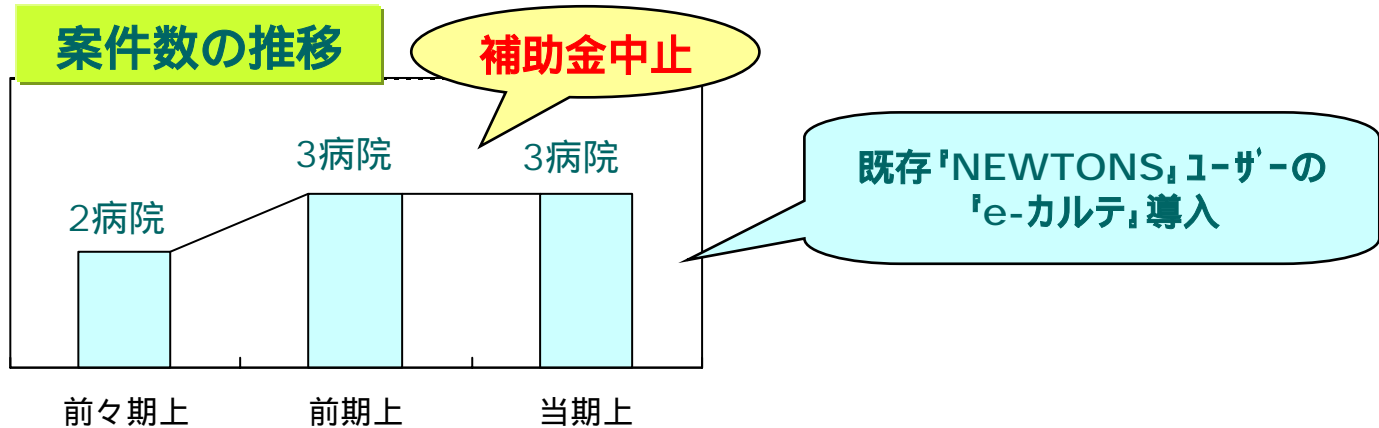


補助金がない厳しい環境下、案件を堅実に消化



補助金制度に依存しない体制

既存ユーザーの電子カルテ導入の推移



約50の『e-カルテ』見込み病院を保有

今後も安定的に『NEWTONS』ユーザーの『e-カルテ』導入が見込める

当中間期の営業活動のトピックス

松原徳洲会病院

日本最大の民間病院グループ

同グループ(57病院)で当社は2病院目の実績
今後の展開に期待

会津中央病院

930床の大規模病院(当社では最大)

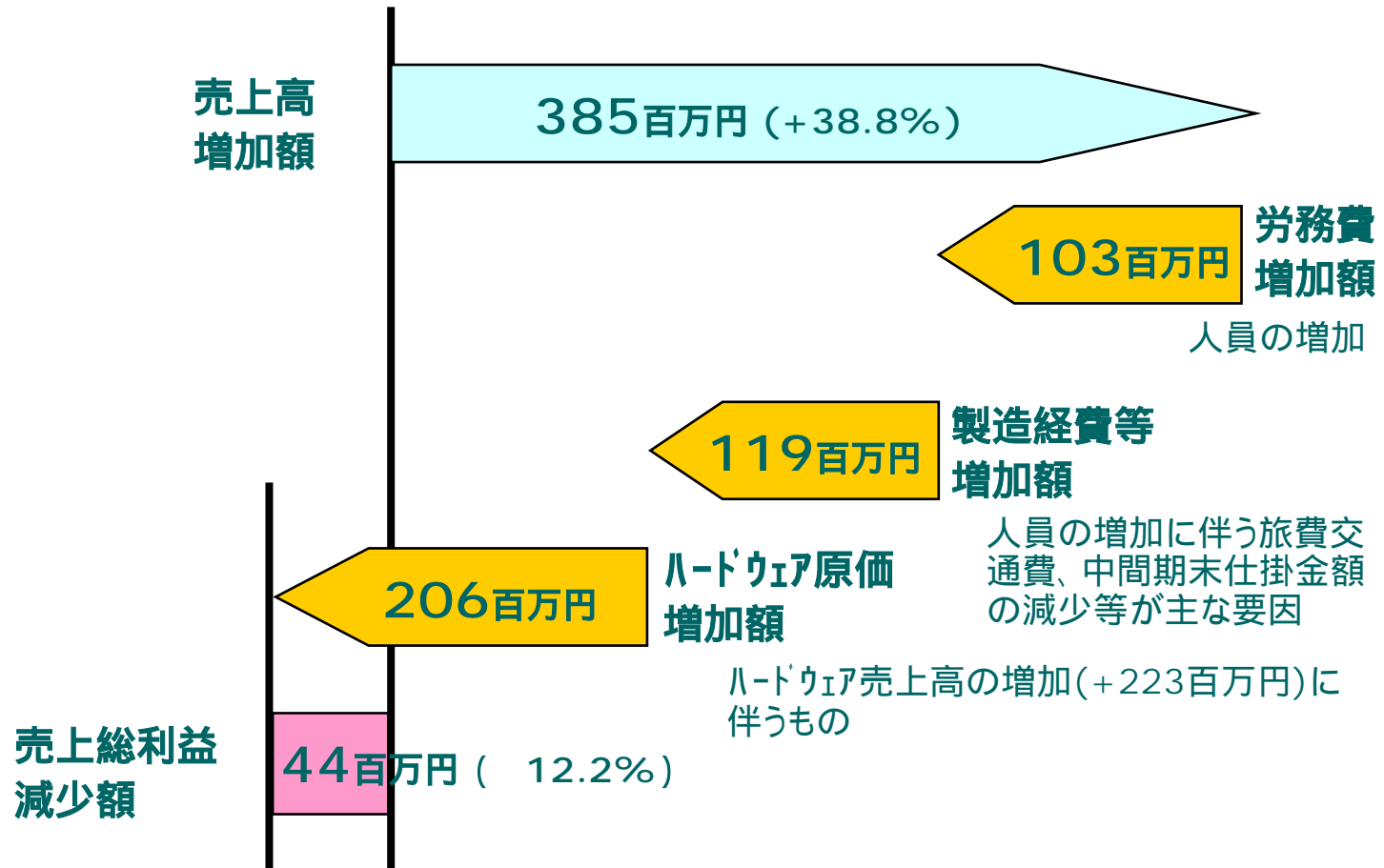
大規模病院でも安定稼働を実証
今後の大規模病院への展開に期待
福島県周辺地域での好影響に期待

白鷺病院

透析病院として日本有数

今後の透析病院への展開に期待

売上高総利益の主な増減要因



営業利益・経常利益の主な増減要因

